ご連絡・お問い合わせは
公益財団法人 **北九州産業学術推進機構〈FAIS〉の各センターへ**

北九州学術研究都市HP

●北九州学術研究都市に関する全般的なお問い合わせ

総　　務　　部　TEL：093-695-3111
E-mail：info@ksrp.or.jp
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1
産学連携センター1階

●学術情報センターに関するお問い合わせ

学 術 情 報 セ ン タ ー　TEL：093-695-3150
図　　書　　室　TEL：093-695-3151
E-mail：info@ksrp.or.jp
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-3
学術情報センター2階

●大学の研究内容の活用、産学連携、その他研究開発プロジェクトに関するお問い合わせ

産 学 連 携 セ ン タ ー　TEL：093-695-3006
産学連携部　E-mail：iac@ksrp.or.jp
G X 推進部　E-mail：fais-ktqgx2050@ksrp.or.jp
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1
産学連携センター2階

●自動車分野における研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ

自動車産業支援センター　TEL：093-695-3685
E-mail：f-cara@ksrp.or.jp
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1
産学連携センター2階

●半導体分野における研究開発・人材育成等に関するお問い合わせ

半導体産業支援センター　TEL：093-695-3007
E-mail：ksnet@ksrp.or.jp
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1
産学連携センター2階

●ロボット導入やDX（IoTの導入、業務のデジタル化等）推進に関するお問い合わせ

ロボット・DX推進センター　ロボット産業推進部　TEL：093-695-3085
D X 推進部　TEL：093-695-3077
イノベーション推進部　TEL：093-695-3077
E-mail：robodx@ksrp.or.jp
〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1
技術開発交流センター1階

●中小企業の経営、創業に関するお問い合わせ

中小企業支援センター　TEL：093-873-1430
E-mail：k_info@ksrp.or.jp
〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2-1
北九州テクノセンター1階





ACCESS

●公共交通機関の場合

JR折尾駅 バス停 → 市営バス・西鉄バス → 学研都市ひびきの［所要時間約20分］
北九州空港バス停 → JR朽網駅 → JR折尾駅

●車をご利用の場合

福岡方面 北九州都市高速道路 黒崎出入口（黒崎・折尾出口下車）折尾方面へ → 北九州学術研究都市［北九州都市高速道路 黒崎出入口からの所要時間約20分］
小倉都心 → 北九州都市高速道路 東田出入口 → 黒崎バイパス 皇后崎ランプ → 北九州学術研究都市［小倉都心からの所要時間約30分］

令和8年9月発行

北九州学術研究都市

GUIDE BOOK 2026 »» 2027

G-CITY



KSRP Kitakyushu Science and Research Park

発行：公益財団法人北九州産業学術推進機構［FAIS］

新たな産業創出と先端科学の学術研究拠点

北九州学術研究都市は、2001年4月に「アジアに開かれた学術研究都市」として、「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指して、福岡県北九州市若松区にオープンした研究開発・産学連携拠点です。国内で唯一、理工系の国公私立大学や研究機関、先進企業が同じキャンパスに集まり、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

［北九州学術研究都市の特色］



理工系の大学・研究機関、研究開発型企業等を同一のキャンパスに集積

- 国・公・私立大学（1学部4大学院）
  福岡大学大学院工学研究科　北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科
  九州工業大学大学院生命体工学研究科　早稲田大学大学院情報生産システム研究科
- 研究機関（13機関）
- 研究開発型企業等（61社）　（令和8年8月1日現在）



研究者・教員・学生相互の交流と連携

- 進出大学による共同研究、教員等の交流
- 単位互換の実施
- 進出大学による連携大学院の運営　カーロボAI連携大学院



進出大学の教育・研究理念の共通化

- 先端的な科学技術分野での教育・研究の展開
- 産学連携の促進
- 起業家精神の育成
- アジアの学術研究拠点の形成



キャンパスの一体的な運営、施設の共同利用

- 学研都市進出大学の代表者で構成する「キャンパス運営委員会」による共同事業の企画・立案
- 図書室、情報処理施設、利便施設の共同利用

北九州学術研究都市の整備事業

- **整備の基本方針**

北九州学術研究都市の開発は、周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅街の供給を同時に行う『複合的な街づくり』として進めています。

- **開発地域**：若松区西部・八幡西区北西部
- **開発総面積**：約335ha
- **計画人口**：12,000人
- **整備スケジュール**
  【第1期事業（約121ha）】平成7年度～18年度
  事業主体：（独）都市再生機構
  【第2期事業（約136ha）】平成14年度～30年度
  事業主体：北九州市
  【第3期事業（約68ha）】 未定
  【河川事業（約10ha）】

北九州学術研究都市の管理・運営

公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）は、北九州学術研究都市の管理・運営を担い、北九州地域における産学官連携による研究開発や学術研究の推進等を行うことで、産業技術の高度化や活力ある地域企業群の創出・育成に寄与することを目指しています。

FAIS
Kitakyushu Foundation for the Advancement of Industry, Science and Technology

理　事　長　松永 守央
役員等構成　〈学　界〉学研都市参画大学副学長
市内理工系大学長等
〈産業界〉商工会議所等経済団体
〈行　政〉北九州市、福岡県

大学の「知」と先端産業が融合し、新たなイノベーションが連続して生まれる街

G-CITY戦略

（新・北九州学術研究都市戦略）

1 稼げる



施策案
- 重点分野（半導体・次世代自動車等）への集中投資
- 国内外から資金と人材を呼びこむ世界トップレベルの研究者の招聘
- 文理融合リベラルアーツ教育

2 つながる



施策案
- 新たな産学連携施設や半導体をはじめ研究施設の整備、大学設備の共有化
- 産業界のニーズと大学の研究の橋渡しを担う専門人材の登用
- FAISが行っている産学連携についての事業手法、経営手法の大幅な見直し

3 集まる



施策案
- 民間による開発も含めた産業用地創出の検討
- 半導体など先端企業・研究機関の戦略的な誘致

4 魅力あふれる



施策案
- 学術研究都市全体のまちづくりを担うアーバンデザインセンターの創設
- 自動運転など先端技術の社会実装

5 世界を巻き込む



施策案
- キャンパスの公用語を日本語と英語とするなど、国境を越えて学べる環境づくり
- 多言語ホームページの充実や国際学会・展示会の誘致など海外への情報発信強化

G-CITY

GREEN　（グリーントランスフォーメーション）
GLOBAL（世界中）
GRID　（つながる）
GAKKEN（学研）

国や県・民間企業との協働
- 特区制度の活用など、規制緩和、税制等の国や県に対する積極的な提案
- 民間投資や民間活力の導入（PFI・PPP）などマネタイズを徹底した運営

G-CITY戦略（新・北九州学術研究都市戦略）

G-CITY戦略は、北九州学術研究都市開設からこれまでの24年間を「創成期」、「成長期」と捉え、これからを「発展期」として、大学の「知」と先端産業の「技術」が融合し、連続して新たなイノベーションを創出していくために必要な産学連携の機能やシステム、周辺エリアを含むまち全体の魅力向上など総合的な見地から、今後の取組みの方向性を示すものです。

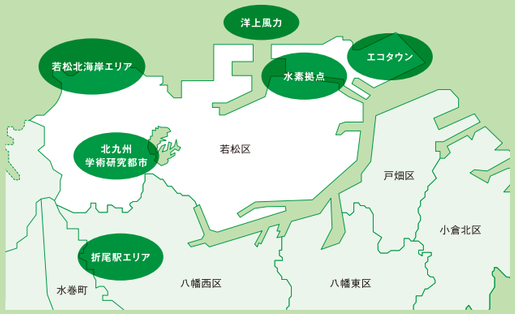
● 知の集積（令和8年8月時点）

4大学　**13**研究機関　**61**企業
学生・教員・企業 約 **3,600**名

● 周辺人口の増加

H13年 約1,400人 → R6年 約**12,000**人

● G-CITY戦略 エリア図 折尾駅～学術研究都市～若松北海岸エリア



● G-CITY 目指す姿（令和7年2月発表）

学術研究都市の大学が獲得した外部研究資金（国・民間資金の計）
5年後 **50**億円

学術研究都市発のスタートアップ起業社数
10年間 **30**社

学術研究都市への誘致件数
10年間 **200**件

学研都市の進出大学、研究機関、企業および産学連携施設

1 北九州市立大学

国際環境工学部　■学生定員：1,020名

環境化学工学科　機械システム工学科　情報システム工学科
建築デザイン学科　生命工学科



大学院国際環境工学研究科　■学生定員：346名

環境システム専攻　環境工学専攻　情報工学専攻

「未来を見据え自ら進み、皆で豊かに創造する智の拠点」をテーマに、環境問題の解決と持続可能な社会の実現を目指した教育・研究を行っています。環境問題に対する深い認識（環境マインド）を持ち、社会の持続的発展に貢献できる人材を養成するとともに、企業や自治体、研究機関との共同研究や地域連携を通じて、実社会の課題解決に向けた研究を推進しています。

2 九州工業大学大学院



生命体工学研究科　■学生定員：352名

生命体工学専攻

生命体工学研究科は、生命のしくみを深く理解し、その知見を新しい技術へとつなげることを目指す学際的な研究科です。生命科学を基盤に、工学や情報科学、データサイエンスを融合した教育・研究を展開し、多様化する社会や産業の課題に挑戦しています。柔軟な教育プログラムのもと、幅広い分野で活躍できる創造力豊かな人材の育成を進めています。

3 早稲田大学大学院



情報生産システム研究科　■学生定員：460名

情報生産システム工学専攻

AI・ICTなどの情報アーキテクチャ、開発・材料・製造・計測制御を含む生産システム、半導体・回路・デバイスを中心とする集積システムの各領域を軸に、分野横断的な教育研究を展開しています。企業・研究機関との連携を推進し、国際的な教育研究環境のもと、実社会の課題解決と新たな価値創出に貢献する人材を育成します。



学生数および教員数

（令和8年5月1日現在）

大　学	学　部	修　士	博　士	研究生	特別研究学生	学生数計	教員数
北九州市立大学 国際環境工学部	1,126 (25)	— —	— —	0 (0)	0 (0)	1,126 (25)	87
北九州市立大学 国際環境工学研究科	— —	341 (62)	129 (105)	0 (0)	0 (0)	470 (167)	—
九州工業大学大学院 生命体工学研究科	— —	316 (52)	109 (59)	6 (6)	4 (4)	435 (121)	45
早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	— —	430 (399)	131 (123)	7 (7)	4 (3)	572 (532)	38
福岡大学大学院 工学研究科	— —	6 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (3)	1
合　計	1,126 (25)	1,093 (516)	369 (287)	13 (13)	8 (7)	2,609 (848)	171

（　）内は留学生数

4 福岡大学大学院

※産学連携センター内

工学研究科　■学生定員：14名

資源循環・環境工学専攻
エネルギー・環境システム工学専攻

資源・エネルギー制約に対応し、循環型社会の実現を担う高度専門人材の育成を目的としています。資源循環工学、環境化学制御、環境生態制御、地域環境、環境マネジメント、東アジア文化環境の6専修で構成され、文系・理系の教員による文理融合・分野横断型の教育を実施しています。工学研究科に設置されていますが、出身学部・学科を問わず、社会人や留学生を含む多様な学生を広く受け入れています。

A 産学連携センター　産学連携センター 1号館







産・学・官が手を組んで研究を進める中核施設

「公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター」などの研究機関、最先端の研究を行う企業、「福岡大学大学院工学研究科」が入居しています。また、コミュニケーションスペース「HIBIKINO　ODORIVA（ヒビキノオドリバ）」や研修室、会議室なども提供しています。

- 貸研究室（31室、オフィス系）
- 研修室、会議室（中・小）、特別会議室、特別応接室

B 共同研究開発センター　産学連携センター 2号館







半導体微細加工技術の研究開発を支援する施設

企業や大学などが半導体製造関連分野の研究開発などを行う施設です。ICやMEMSの試作を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。IC試作体験実習の受け入れも可能です。

- 貸研究室（7室、オフィス系）
- 共同利用のIC・MEMS向け微細加工装置群を設置
  （イオン注入装置、電子ビーム描画装置、両面露光装置、高速熱処理装置（RTA）、ダイシングソー、ボンディング装置等）

C 情報技術高度化センター　産学連携センター 3号館







ネットワークや半導体設計に関する研究開発を行う施設

企業や大学などが高度な情報通信技術や半導体設計技術の研究開発などを行う施設です。半導体技術者育成のための研修室や半導体評価・解析を行う機器の開放、研究室の提供などを行います。

- 貸研究室（34室、オフィス系・小規模研究室）
- 半導体評価・解析を行う機器等を設置

D 事業化支援センター　産学連携センター 4号館







大学発ベンチャー等の研究開発や事業化を支援する施設

オフィス系研究室のほか、機械系と化学系の研究室や小規模ブース単位で使用できる共同研究室を提供しています。

- 貸研究室（36室、オフィス系・機械系・化学系）
- 会議室（中・小）
- 共同研究室（10ブース）
- シェアオフィス

E 技術開発交流センター　産学連携センター 5号館







ロボット、次世代自動車分野の企業支援やDXを推進する施設

ロボット導入や次世代自動車参入のための企業支援、DX（IoTの導入や業務のデジタル化）を推進する施設です。また、学術研究を目的に訪れる方のための宿泊室も提供しています。

- 貸研究室（48室、オフィス系・機械系・化学系）
- 宿泊室（9室、シングル8室・ツイン1室）　● 会議室（中・小）
- 交流室（1室）

F 学術情報センター　図書室　情報処理施設







情報を集積・発信するマルチメディアステーション

学術情報の収集提供（図書室）の機能、情報処理教育施設の機能を持つほか、情報コンテンツ制作をサポートする環境を提供しています。

貸研究室賃料

◎2,000円／㎡・月（共益費別 500円／㎡・月）
（例：研究室50㎡の場合およそ150万円／年 光熱水費等別）

※FAISは、北九州市から指定管理者としての指定を受け、産学連携施設の効果的・効率的な管理・運営を行っています。

学研都市進出企業インタビュー

シャボン玉石けん株式会社



研究開発機能を集約し、「イノベーションラボ北九州」から新たな価値創造へ

「健康な体ときれいな水を守る。」という企業理念のもと、無添加※石けんの製造・販売を続けるシャボン玉石けん株式会社。

2026年4月、研究開発力の強化とオープンイノベーションの推進を目的に、研究開発拠点を北九州学術研究都市内に移転、新たに「イノベーションラボ北九州」を開設しました。研究・開発機能を集約し、大学や企業との連携を深めながら、新たな価値創造を目指しています。

今回は、取締役研究開発本部長の川原貴佳氏にお話を伺いました。

※無添加：香料、着色料、酸化防止剤、合成界面活性剤 不使用



Q ラボを学研都市に開設した理由は

事業成長に伴う生産能力の拡充を進める中、本社工場にあった研究開発部門を移転しました。

北九州市立大学との共同研究講座や九州工業大学等との共同研究をさらに発展させるため、産学連携環境が整う北九州学術研究都市を選びました。

これまで分散していた研究・開発機能を集約したことで、基礎研究から製品開発まで一体となって取り組める体制が整い、新たな価値創造につながることを期待しています。

Q ラボでのおもな研究内容は

ラボでは、北九州市立大学との共同研究による石けん系消火剤の開発をはじめ、液体石けんの機能向上や新製品開発など、石けんの可能性を広げる研究を進めています。

また、新たにバイオ実験室を整備し、細胞や微生物を用いた評価試験を社内で実施できる体制を構築しました。

これにより、抗菌性や安全性評価など、より高度な研究開発が可能になっています。

Q 大学・FAIS に期待することは

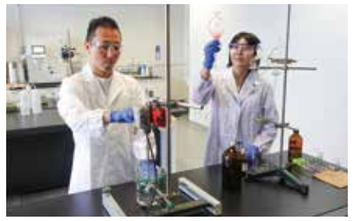
学研都市には大学や研究機関、企業が集積しており、多様な専門分野との交流から新しい技術や事業が生まれることを期待しています。

「HIBIKINO　ODORIVA」のような交流の場も活用しながら、イノベーションラボ北九州を企業や大学の研究者が気軽に集う「オープンラボ」として育てていきたいと考えています。

また、FAISには産学連携や共同研究をつなぐ役割を今後も期待しています。

Q 今後の展望は

今後は無添加石けんの研究に加え、新たな分野への挑戦も進めていきます。



大学や企業との連携をさらに深め、異分野の知見を取り入れながら、新しい研究テーマや事業の創出を目指します。

また、化学系だけでなくバイオ系や情報系など幅広い人材の採用・育成にも力を入れ、北九州学術研究都市から社会課題の解決につながる新たな価値を発信していきます。

［企業概要］

企　業　名　シャボン玉石けん株式会社
代　表　者　森田　隼人
本社所在地　福岡県北九州市若松区南二島2-23-1
U　R　L　https://www.shabon.com/



企業インタビューページ

研究開発に最適な学研都市

研究開発をサポート

支援機関（FAIS）の各専門コーディネータが企業の研究開発をサポートします。大学研究者などの連携先を探す相談や、マッチングの支援等を受けることができます。また、FAIS研究開発補助金へ申請できます（助成要件あり）。

用途に応じたオフィスの提供

研究開発の内容に適したオフィスを用意しています。 ベンチャー企業等には賃料の減免制度（最大半額）があります（減免要件あり）。市のオフィス立地促進補助金の助成対象の施設です（助成要件あり）。

充実した研究設備

半導体のケミカルプロセス室、イエロールーム、組立・測定室等の研究設備を利用できます（共同研究開発センター）。



一般利用も可能な利便施設

無料でミーティングルーム、交流スペース、体育館、トレーニングジム、テニスコート、シャワールーム、専門図書館などを利用できます。利用方法等については、ホームページをご確認ください。



研究機関

研究機関等の名称	入居場所	研究内容
北九州市立大学 環境技術研究所	北九州市立大学	地球環境の変化と地域社会の要請に応えるため、環境エネルギー、バイオマテリアル、情報、ロボット技術等の分野の研究と技術開発を戦略的に推進
北九州市立大学 環境技術研究所・Green LPG 研究室	事業化支援センター	LPガスの新技術に関する研究
北九州市立大学 福田研究室	情報技術高度化センター	マンション木軸材用「接着形成造作用芯材」の事業化に関する研究
九州工業大学 超ワイドバンドギャップ・パワーエレクトロニクス研究センター	九州工業大学および 共同研究開発センター	省エネルギーの推進、電力の高度利用技術、自然エネルギーの活用等、低炭素社会の実現に貢献するパワー半導体を中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の研究
九州工業大学 未来社会ロボット実装センター	九州工業大学および 情報技術高度化センター	○極限環境に対応可能な特殊環境ロボット群の開発・実用化 ○医療・介護ロボットの開発・実用化　○工場内自動化対応技術の開発・実用化 ○信頼できるロボットの実用化を支える品質保証を可能とするオープンソフトウェアの開発
早稲田大学 情報生産システム研究センター	早稲田大学情報生産 システム研究センター	自動車エレクトロニクスおよびLSI分野における国際的水準の高度な研究、人材育成
福岡大学 産学官連携センター 北九州産学連携推進室	産学連携センター	環境産業に関する企業のニーズ、自治体の政策およびシーズをマッチングさせ、産学官連携による環境産業振興を展開
東京科学大学 産学共創機構 北九州オフィス	産学連携センター	産学連携・共同研究の推進、大学・企業・研究機関との共創支援
一般社団法人HiBD研究所	産学連携センターおよび 事業化支援センター	再生可能資源、炭酸ガスを原料とする液体燃料製造の研究開発
公益社団法人無人機研究開発機構	産学連携センター	無人機全般について調査、研究および技術向上についての知識の交換、情報の提供等を行う場となることにより、無人機に関する研究の進歩普及
公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究事業化センター	産学連携センター	資源循環型社会の構築に向けた、リサイクル技術の開発や社会システムの確立に取り組む産学官民による研究開発および事業化を支援
NPO法人運動脳科学研究所	事業化支援センター	小型の脳活動センサーを使用し、運動時の前頭前野の血流量を計測
特定非営利活動法人あそびとまなび研究所	事業化支援センター	竹コンポストを利用した地域における生ごみ減容の最適普及促進の実証研究

企業

入居場所		企業名	事業内容
産学連携センター		石田特許事務所	特許、及び実用新案・意匠・商標登録の出願手続の代理、特許出願等に関するコンサルティング
		プラントメイクRISE㈱	焼却炉設備におけるコーティング剤開発、3Dスキャナーによる構造計算ソフトの開発
		ASTROCEAN㈱	設備の受託開発、エンジニアリングサービスの提供
		弁護士法人河合法律事務所	最先端の科学技術研究や開発に携わる大学・企業へ、法的リスクのマネジメントおよび戦略的な法務サポート提供
		シーマ電子	設計・試作・評価・解析・製造などのサービスの提供、開発のサポート
		日本ベンチャービジネスキャピタル㈱	パワーデバイス実装技術開発、ナノ金属粒子接合材の実用化開発、マイクロメッキ接合技術開発、コンサルタント、技術ライセンス
共同研究開発センター		㈱セキュリティ情報研究所	システム開発、システム保守（24時間365日）
		㈲K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発
		㈱Power Diamond Systems	ダイヤモンド半導体を使用したパワーデバイスの開発
情報技術高度化センター	●	（同）数理科学研究所	数理科学に関する研究及び開発事業
		㈱華仁サービス	外国人留学生の誘致及び就職に関するマーケティング戦略の研究
		㈱ココプラス	エクソソーム化粧品原料の研究・開発
		㈱J.A.M. Engineering Institute	次世代ロボット用アクチュエータおよび次世代高精度加工用高速主軸モータの要素技術研究。次世代リニアモータの効率化研究。省エネモータ、宇宙用モータの要素技術研究。
		SICC GLOBAL㈱	SiCウェーハの結晶性・物性・特性や界面、表面洗浄度などの研究。自社材料のデバイス特性評価
		ヘッドスプリング㈱	パワー半導体向け信頼性試験装置のショールーム兼テストラボ
		ACE Solution Co.,Ltd. （筑波科技股份有限公司）	半導体テスト、評価技術やスマート医療分野での研究開発 テラヘルツ検査など大学研究シーズとの共同研究
事業化支援センター	●	㈲ビー	画像処理システムおよびソフトウェアの研究開発
	●	実研開発㈲	臨床工学教育機材、光伝送生体信号測定装置の開発・販売
	●	㈱ブラテック	Webシステム開発、アカデミックソリューション事業
		アネーラ税理士	監査業務、各種税務書類の作成、税務代理、税務相談、税務コンサルティング
		㈱AKシステム	半導体製造装置製作技術等の新産業分野（医療・福祉等分野）への応用研究開発
		㈱アイシン	画像認識・空間認識、車両制御等の要素技術開発
	●	アーティックス㈱	IoT、人工知能、ブロックチェーンなどに関する研究開発
	●	レアメタル技研㈱	リチウム吸着剤の大量合成による事業化
		KOA㈱	電子部品、センサ素子、センサモジュールに関する情報収集、情報交換ならびに産学共同開発
		環境エネルギー㈱	バイオジェット燃料の開発・実用化、バイオディーゼル燃料の高品質化
	●	ひびきの電子㈱	電界共振型生体センシング及びセンシングデータ解析システムの開発
		㈱ワークス	ワイヤレス給電技術を利用した消化管内自走式カプセル内視鏡の開発
	●	㈱ロボサイエンス	小型水中ロボット（船底清掃ロボット等）の開発
		㈱アポロジャパン	スクリーンコードおよび自動運転の基盤技術開発
		HMコネクト㈱	除菌・抗菌・消臭液の効果検証及び効果持続性のある商品の開発、クリスタル硝子内部にレーザー彫刻した絵柄のLED照明演出装置開発

入居場所		企業名	事業内容
事業化支援センター	●	㈱ハインツテック	細胞内への物質導入・細胞内物質抽出のための、ナノ構造体を用いたツールの開発・製造、およびそれらを用いた研究開発支援
		LOVO&Co.	クラウド上の生産設備を利用するスマートファクトリーの構築
		（同）ノーエン	農業における気象データ活用に関わる研究・開発
		フォースウェーブ・ パートナーズ㈱	ロボットを使った自動化・省力化システムに伴うソフトウェアの開発、システムの実証作業
		㈱On&On	DX技術を活用したオリジナル和菓子の開発
	●	RoboPlusひびきの㈱	メカトロニクス設計・製造及び販売、コンサルタント業
		㈱シンコム	半導体関連及びAI事業の受託設計
		㈱Windy	病院、薬局で使用するソフト開発、自動車工場での作業分析ソフトの開発
		Japan Quality㈱	半導体製造現場の生産性向上、事業拡大並びに多様化 半導体装置の再生やメンテナンス技術の向上
		㈱空宙技研	衝撃試験機器の開発、設計、組立及び宇宙機器の設計組立 教育教材の開発
		㈱豊光社	プリント基板の製造、直流用電流センサ“PICASOR”シリーズの開発、販売、ナノレベル接合技術による、次世代要素技術MARBSの開発
		先晶㈱	チップシステム設計技術の研究開発を支援し、サプライチェーン、商業化、人材育成・教育において、メモリ、光、RF、電源管理などのCo-Pack分野でスタートアップや大学との連携
		㈱AIBODネクサス	フィジカルAI実現に向けた半導体垂直統合設計のプロトタイプ研究
	●	（同）オートケア	介護分野におけるIT・AI技術での業務効率化システムの研究開発・実証介護現場へのDX普及コンサルティング
		スターマリン㈱（法人化予定）	カメラとAIを活用した海上浮遊物の検知研究
		㈱金属被膜研究所	半導体製造装置部品や精密金型へ適した無電解ニッケルめっきの開発
技術開発交流センター		㈱シキノハイテック	半導体設備の設計／製作／調整、LSI回路設計／レイアウト等
		吉川工業㈱	RF-IDに関する研究開発事業
		㈱C&Gシステムズ	金型設計・加工用CAD／CAMソフトウェア開発
		シャボン玉石けん㈱	無添加の化粧石けん、家庭用洗浄剤、消火剤などの製造販売
		㈱トリコ	電気部品の開発・修理
	●	㈱FILTOM	プラセンタエキス（豚胎盤液）を使った化粧品の開発・製造・販売
	●	㈱セキュアサイクル	行動認識技術の汎用化プラットフォームの開発およびセキュリティ事業
		㈱正興電機製作所	スマート保安に関する技術と脱炭素に向けた再エネソリューション技術の研究開発及び大学・企業連携
		日本酸素ATI㈱	ドライアイス洗浄装置や金属3Dプリンタの使用方法に関する研究開発
		プレミアエンジニアリング㈱	協働ロボット（アーム型、自動搬送車AMR型）を使ったシステム開発、エンドユーザーがロボットを操作できる迄のトレーニング等
		東芝ナノアナリシス㈱	半導体メモリの解析・評価、パワーデバイス等の半導体の解析・評価
		㈱SmartOne	人協働ロボットを使用した自動化システムパッケージの開発、システム構築に必要なハード、ソフト開発・商品化
		第一施設工業㈱	ロボット等保全を核に産学連携でFA事業を研究開発。新たな生産性向上支援を提供します。
		エイム㈱	次世代エンジニアの育成及び電気自動車の実証実験、そのデータを活用した研究開発等

入居企業数：61社　※●印は学研都市発ベンチャー企業（13社）　令和8年8月1日現在